

令和5年度 公益財団法人羽島市地域振興公社の事業報告書

I 業務に関する事項

1 概況

当公社は指定管理者として、文化センター・中央公民館、老人福祉センター羽島温泉、歴史民俗資料館の管理運営し、受託事業として、羽島市老人クラブ連合会、羽島市美術展実行委員会の各事務局を担っています。

令和5年度は、文化センター・歴史民俗資料館の指定管理者制度の第4期（令和元年度から令和5年度までの5年目）であり、羽島温泉は第5期（令和4年度から令和6年度までの2年目）であり、各施設はお客様・利用者の視点に立って、サービスの向上と効率的な管理運営を図り、公社の目的である「市民サービスの向上促進、市民福祉の増進と文化の振興」を推進するため、取り組んでまいりました。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが、令和5年5月8日に2類相当から5類に変更となり、法律に基づき行政が要請や関与をする仕組みから、個人の選択を尊重し、自主的な感染予防の取り組みに対応が変更されたことに伴い、各施設においては、感染予防を考慮しながら、対応を変更しました。3施設の利用も通年利用に戻りつつある状況です。一方、電気、ガス、重油等については、世界的エネルギー不足による高騰が継続しており、また、政府の緩和政策が削減される見込みもあり、見通しがつきにくい状況が続いております。

今後とも業務遂行に当たっては、公社スローガンの「笑顔・親切・誠実」「連携・工夫・発信」と法令順守を認識し、職員一丸となって事業実施の見直し、作業の効率化に努め、経費削減と職場内改善に努めてまいります。

2 各施設に関する事項

(1) 文化センター・中央公民館の指定管理運営業務

(職員12名うち嘱託職員1名、臨時職員4名)

コロナ禍が明けた令和5年度は、通常の運営体制で日々の業務にあたってきました。施設利用状況も少しずつではありますがコロナ前の水準に戻りつつあります。平成30年度以降の文化センター（大小ホールと401大会議室）の利用者数は、次のとおり推移しています。

	大ホール	小ホール	401大会議室
平成30年度 (2018年度)	69,534人	28,537人	35,823人
令和元年度 (2019年度)	67,716人	24,921人	33,791人
令和2年度 (2020年度)	923人	496人	5,181人
令和3年度 (2021年度)	25,336人	6,400人	6,527人
令和4年度 (2022年度)	57,633人	18,731人	19,064人
令和5年度 (2023年度)	57,606人	19,116人	21,948人
対令和元年度比	85%	77%	65%

また、利用団体数をコロナ前と比較すると、対令和元年度比で文化センターでは78%（2,094団体／2,686団体）、中央公民館では48%（667団体／1,389団体）ほどとなっています。

施設の環境整備については、羽島市及び文化センター予算で計画的に進めています。しかし、日常的に施設の整備美化が保たれていることや毎年利用者の満足度が高いことは、職員及びスタッフによるこまめな点検と修繕、そして経費削減への継続的な取り組みといった高い意識による賜物でもありと考えています。今後も日常の丁寧な点検と迅速な対応、経費削減・節減への取り組みに努めていきます。

(ア) 施設の改善・整備（安全・安心の確保）

① 日常の安全・安心への対策

管理課の職員を中心に、日頃からきめ細かな点検に努め、危険箇所については即対策を講じるなど利用者の安全を第一に考えた取り組みを行っています。令和5年度に職員の手で取り組んだ主な内容は以下のとおりです。

- ・床タイルカーペット交換
- ・外階段補修
- ・展示室搬出入口スロープ設置
- ・大ホール客席階段注意喚起黄色テープ貼付
- ・舞台階段拡幅改修
- ・通路ロッカー転倒防止ストッパー取付け
- ・積雪時の除雪

また、1月に能登半島地震が発生したこと、今後も大きな地震の発生が想定されていることを受け、2月には避難訓練の際に地震発生時の対応について全職員で研修しました。委託業者立会いのもと緊急放送の手順の実践とDVD視聴による防災学習を行うことにより、いざという時のための心構えや日頃の備えの大切さについて学びました。

② 利便性向上に向けてのIT環境整備

現在、「大小ホール」「401会議室」には配信事業用ケーブルが、「楽屋通路」「402特別会議室」「メディアカーニバル」及び「中央公民館部分（2階、3階）」

にはWi-Fi環境を整備し、年間20団体ほどの利用があります。

また、令和7年10月には現施設予約管理システムが更新時期を迎えます。令和5年度はその更新に向けての準備を行ってきました。現時点では具体的な方向は出ていません。発券システムやキャッシュレス化等についても検討を進めてきましたが、今後も利用者の実態や職員の業務状況等現状に照らしながら羽島市(生涯学習課)や専門家(当施設コンサル)とも慎重に検討を続けていきます。

③施設設備の改修

現在、継続的に大きな課題となっている改修内容としては、高圧受電設備更新、舞台機構部分更新といった2～3か月の長期休館を伴う改修、それに合わせて検討したい直流電源設備更新、空調設備更新等があります。これ以外にも、利用者にとって安全で安心な施設管理を行っていく上で必要な修繕が多くあります。令和5年度も、今までと同様継続的に、施設の機能維持及び市民サービス向上をめざし、定期的に羽島市に対して修繕要望を行ってきました。

(イ)経費削減への取り組み

令和5年度に、全職員共通理解のもと、職員の手で取り組んだ主な内容は、以下のとおりです。

①外部への支払金抑制のための取り組み

- ・コピー使用状況グラフ化し、職員へ配付し意識づけ
→効果：前年比 料金20%減、枚数6%減
- ・芝刈り、草刈り、剪定 ・洋式トイレ詰まり処理対応 ・館内ペンキ補修
- ・客席番号シール張替え ・会議室LANケーブル差込口修繕
- ・大ホールスクリーン画角拡大対応暗幕作成取付 ・正月門松、お飾り廃止
- ・25周年記念看板、新年挨拶看板作製

②エネルギー消費節減のための取り組み

- ・こまめにスイッチオン、オフ
- ・メディアカーニバル電球間引き、晴天時消灯
- ・1～3階エレベーター前天井間接照明LED化、間引き
- ・冷蔵庫、扇風機、空気清浄機使用时以外コンセント抜く
- ・空調設備稼働台数1台を基本に稼働
- ・館内共用部、会議室、機械室に温湿度計設置
- ・電気使用状況、ガス使用状況グラフ化し職員へ意識づけ
→効果：前年比 電気 使用量8%減、料金28%減
ガス 使用量8%減、料金27%減

(ウ)施設利用者の満足度

令和5年9月～1月にかけて「施設利用に関するアンケート調査」を実施しまし

た。その結果、満足（「満足」＋「やや満足」）との回答が、施設利用及び職員の対応（受付・案内等）に関してはそれぞれ97%、施設環境（清掃・空調等管理運営）に関しては94%となり、利用者は施設や利用に関して非常に高い満足度を示していることが分かりました。

なお、管理運營業務の区分については、減免団体（羽島市文化センター条例施行規則第9条第1項及び第2項に規定する団体）に関する利用を公益目的事業、それ以外の団体に関する利用を収益事業としています。

（2）自主企画事業

令和5年度は、コロナ禍が続いたことによる来場者数減少という状況の中でのスタートとなりました。事業によって来場者数に大きな差が見られるという状況が続いており、まだまだコロナ前の水準には戻っていないという実感があります。令和5年度実施した主な事業について以下のように報告します。なお、詳細は資料「令和5年度 自主企画事業 実績」をご覧ください。

（ア）本物の芸術に触れる機会の提供

令和5年度は、ミュージカル、著名人コンサート、寄席等、本物の舞台を鑑賞する機会を提供する事業として、15の事業を企画し計画通り開催しました。令和2～4年度の3年間中止（令和3、4年度はリモート開催）した劇団四季「こころの劇場」については、令和5年度は4年ぶりに開催することができました。大垣市からの依頼を受け羽島市と大垣市との合同開催となりました。

（イ）市民講座等生涯学習活動の推進

参加者がものづくりを体験したりスキルアップを図ったりするための市民参加事業として以下の事業を行いました。人との触れ合いの場を設定する事業であるため、令和5年度は可能な範囲での実施にとどめました。

①市民講座

健康編「ストレッチ講座」1講座のみ開催しました。全10回の講座で30人が受講しました。受講者にも大変好評で次年度以降も継続して開催する予定です。

②アウトリーチ活動

ランチタイムコンサート出演団体である「美濃南京玉すだれの会」による小規模多機能ホームへの訪問、当館所属の「フレッシュアーティスト」の病院への訪問の2回の訪問を行いました。人とかがかわることが制限されてきた中で実施した今年度の訪問はいずれも好評で、多くの方々に楽しんでもらうことができました。

③ランチタイムコンサート

20団体の申し込みがあり、当館所属・育成団体を含めて23団体のコンサート等を開催しました。来場者は20人から200人ほどと幅がありましたが、毎

回見応え、聞き応えのあるステージとなりました。

④新ホールでピアノ

会場確保ができない月もあり、年間9回計画し合計28人（平均3.1人）の利用がありました。

(ウ) 青少年及び若い世代の育成

以下の事業を社会体験・社会貢献を通して未来につなぐ事業と位置づけ若い世代の育成に継続的に取り組んできました。将来の観劇者、職員、サポーター等へと育成することや地域文化の向上に貢献する一翼を担う若者を育成することを目的としています。

①ジュニアサポーター（所属11人）

小学生1人、中学生7人、高校生3人が所属し、毎月の月例会や自主公演事業のサポート活動を計画通り行うことができました。今年度より月例会は隔月としました。

②合唱団^{ジュニア}Jr.と若手指導者（団員11人、指導者2人）

5期生を募集し11人での活動となりました。指導者を若手へと移行し指導者1名と演奏家1名の育成にも力を入れています。計画通り練習することができ、活躍の場として11月に開催した開館25周年記念イベント「所属団体コンサート」に出演し日頃の成果を披露することができました。来場者を笑顔にすることができました。

③若手演奏者「フレッシュアーティスト」（所属4人）

ピアノ演奏者3人、マリンバ演奏者1人が所属し、各自のペースで定期的に当館ホールにて練習を行ってきました。11月に開催した開館25周年記念イベント「所属団体コンサート」に出演し日頃の成果を披露することができました。来場者にもとても好評でした。

(エ) 地域貢献

令和5年度は、羽島市の地域伝統文化の継承、魅力発信、さらなる創造を支援する事業として、竹鼻まつりや平方勢獅子等の継承に向けて地域・学校との連携事業を模索してきました。しかし、after コロナとなった年でもあり実現には至りませんでした。今後の課題ととらえています。

(オ) 団体(所属団体)活動支援

令和5年度も、当館を拠点に練習や定期演奏会、公演のサポート等に日々取り組んでいる3団体に対して助成し活動を支援してきました。

①文化センター合唱（団員26人）

2年に1度の定期演奏会に向けて、毎週日曜日夜の練習に取り組んできました。

3月には定期演奏会を開催し、楽しみにしていただいていた670人以上の来場者がありました。客席も盛り上がり団員も有意義なひと時を過ごすことができました。

②ぎふ羽島吹奏楽団（団員41人）

毎週金曜日夜の練習に取り組んできました。毎年開催される定期演奏会は好評で大変聴きごたえがあります。7月には定期演奏会を開催し、楽しみにしていただいていた750人以上の来場者がありました。団員も充実感をもって演奏会を終えることができました。

③劇場サポーター「めだか組」（所属25人）

公演開催にあたり共催事業を増やしてきた関係で公演のサポート活動の機会は減少しました。そのような状況ではありましたが、年度初めの総会と毎月のリーダー会、月例会を開催するとともに、公演（8回ほど）、ランチタイムコンサート、ジュニアサポーター月例会へのサポート、めだか組主体事業としての七夕飾り、クリスマス飾りへの活動にメンバー一丸となって取り組むことができました。また、12月には当館開催の企画公演を、1月には他館での歌劇公演を観劇及びサポーター業務のスキルアップの機会ととらえ視察や研修に出向いた。

なお、自主企画事業の区分については、社会貢献的・伝統継承的・育成の公益的な事業（主に市が指定する「指定事業」）を公益目的事業、それ以外の事業（公社が行う「自主事業：著名な演奏家の演奏会や舞台公演等」）を収益事業としています。

自主企画事業の実績状況の詳細は、次の表のとおりです。

月日(曜)	公演名	来場者数
5/25(木)	「松山千春コンサートツアー2023」(共催)	約1,200人
6/17(土)	「吉本新喜劇&バラエティショーin 岐阜羽島」(共催)	午前 860人 午後 870人
7/9(日)	はしま寄席「落語会 春風亭昇太・桂宮治」	549人
7/23(日)	ぎふ羽島吹奏楽団「第20回定期演奏会」(共催)	769人
8/18(金)	夏休み子ども映画会 「すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ」	午前 653人 午後 568人
9/13(水)	劇団四季こころの劇場 ミュージカル「ジョン万次郎の夢」	羽島 558人 大垣 約1,500人
9/23(土)	宝くじ文化公演 「叶正子(サーカス)・国府弘子ラグジュアリーコンサート」	415人
10/8(日)	開館25周年記念 劇団四季ミュージカル全国ツアー 「クレイジー・フォー・ユー」	1,058人
10/28(土)	開館25周年記念「丘みどりコンサート2023～演魅 Vol.4～」	734人
11/19(日)	25周年記念イベント「1部：式典、文セ合唱団/合唱団 Jr./フレッシュアーティスト/ぎふ羽島吹奏楽団によるコンサート」「2部：映画上映 学校Ⅲ」	大1部 267人 小2部 182人
11/23(木)	しまじろうコンサート 「しまじろうと きらきらぼしの クリスマス」(共催)	1回目 1,071人 2回目 945人 3回目 717人
12/16(土)	「荒牧陽子×ビューティーこくぶ 最強!!歌まねジョイントライブ in 岐阜羽島」(折半共催)	1,176人
12/23(土)	「The Rev saxophone Quartet 10th Anniversary Concert」(共催)	378人
3/17(日)	羽島市文化センター合唱団定期演奏会	677人
3/23(土)	「堀内孝雄コンサート」	約1,100人
	来場者合計	16,256人
市民講座	健康編「ストレッチ講座～楽しくかつ健康に!～」(受講者30人) 全10回：R6. 1/11,18,25 2/1,8,15,22,29 3/7,14	
アウトリーチ活動	7/22(土)NPO法人うららびより羽島(小規模多機能ホーム)へ訪問「美濃南京玉すだれの会(大道芸)」 11/13(月)羽島病院へ訪問「フレッシュアーティスト林洸太(ピアノ)」35人	
年間	ランチタイムコンサート 4/29(土)アンサンブル Reve(管弦楽/ピアノアンサンブル) 5/13(土)Groovy Beries(グルービー ベリーズ)(ゴスペル) 5/27(土)JAZZ ユニット 66+大久保キヨ子(ジャズの演奏とボーカル) 6/3(土)ルナソル(ベリーダンス) 6/10(土)羽島市音楽芸術協会ジュニアアンサンブル(合唱/独唱) 7/1(土)邦楽集団 斗光社(邦楽三曲合奏) 8/5(土)(公社)当道音楽会 菊夕奈津子社中(琴) 8/12(土)箏曲クラブゆう(邦楽) 8/19(土)マナフラサークル(ハワイアン) 9/16(土)IT バンド(フォーク) 10/7(土)リバーサイドサウンド(ウクレレ演奏/ポップス etc) 10/14(土)アンサンブルさくら(室内楽) 12/9(土)ミュージックベルクラブ鈴々(ベル演奏) 12/23(土)文化センター合唱団クリスマスコンサート(合唱) 1/6(土)文化センター合唱団 Jr. (合唱) 1/13(土)op.1 Hashima(音楽劇) 1/20(土)羽島女声コーラス(合唱) 1/27(土)レレ岡田&羽島レイハワイアンズ(ハワイアン) 2/3(土)Hauoli Hula Studio(フラダンス) 12/16(土)より変更 2/17(土)ピアノデュオフレンズ(ピアノ) 2/24(土)美濃南京玉すだれの会(大道芸) 3/2(土)ぎふ羽島吹奏楽団スプリングコンサート(吹奏楽) 3/9(土)エンジョイ昭和歌謡(コーラス)	38人 20人 48人 37人 32人 26人 38人 55人 60人 27人 45人 84人 55人 150人 50人 123人 215人 63人 152人 48人 50人 80人 45人
	来場者合計	1,441人

年間	新・ホールでピアノ<4月7月11月は会場確保ができず実施していない> 5/28(日)3人、6/18(日)0人、8/12(土)0人、9/30(土)4人、10/14(土)5人、 12/17(日)5人、1/13(土)1人、2/12(月祝)5人、3/9(土)5人 利用者合計 28人
----	--

(3) 羽島温泉指定管理事業

昭和53年3月に開館以来「温泉利用者の健康増進と心身の保養の場」として広く利用されています。

利用者数は111,094人(対前年度8,334人の増)で、その内訳は、有料利用者が103,363人、身体障がい者などの無料利用者が7,731人でした(累計利用者10,787,239人)。

利用料金収入は18,274,700円(対前年度2,229,700円の増)でした。利用者、利用料金増加の要因としましては、市外利用者の増加と新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類になり、感染状況も落ち着き、入館者が増加しました。

業務につきましては、受付及び利用料の徴収の他、老人健康相談(毎月第2水曜日)、貯水槽等(温泉タンク、給湯タンク)及び配管清掃(年3回)を実施するとともに、隔月の水質検査と浴槽内の残留塩素濃度測定を実施し殺菌、消毒の徹底を図り、衛生管理に努めました。

なお、毎月3回の休館日には、職員による浴場清掃及び施設の保守点検・環境整備に努めました。

また、羽島市内在住の方へ利用証交付手続きを実施しております。

次に、主な取組み内容と次のとおりです。

① 「利用者感謝日」等企画の実施

・「風呂の日(毎月26日)」回数券購入者に利用券を進呈し販売促進を図っております。

年間累計売上冊数は7,039冊(対前年度549冊の増)、売上金額は、10,842,000円(対前年度1,354,000円の増)。

市内利用者の回数券が約85.7%を占めますが、市外回数券の売上金額は4,000,400円で全体の37%でした。

(対前年度212冊の増、848,000円の増)

・平成25年度から取り組んでおります温泉施設の連携事業「西美濃湯めぐり倶楽部」につきましては、10施設となりました。令和5年度のイベントとしましてはエリアを拡大し飛騨、東濃と岐阜県下16施設で「ご湯印めぐり岐阜」と銘打って令和5年11月から1年間実施しております。令和6年3月までの5ヶ月で601人の利用がありました。前回、令和4年度に実施

したイベントは7カ月で580名の利用でしたから良い結果で推移しています。

・羽島温泉のパンフレットを羽島市役所、新幹線岐阜羽島駅、道の駅「柳津」「クレール平田」、不二羽島文化センター、市内のコミュニティセンターなどに配布しPRに努めました。

・「羽島市健幸ポイント事業」に協力しました。

② 健康に関する事業

・医師による老人健康相談を、毎月第2水曜日に開催しました。

・地震・火災等による避難訓練を10月と3月に2回実施しました。

消防署の方によります講習会は3月に実施予定でしたが、先方の都合により実施できませんでした。

③ 「羽島温泉の簡易運営に関するアンケート調査」の実施

3月6日に515人に対し実施。回答者446人（回収率約86.6%）でした。

内訳は、「職員の対応」では、満足・やや満足との回答が97%ありました。従業員が親切で、対応がよく気持ちよく利用できるのご意見も頂いています。やや不満・不満の回答は3%でした。「施設管理」は、満足・やや満足との回答が87%ありました。清掃が行き届いているのご意見も頂いています。やや不満・不満の回答は13%でした。内容としては施設が古いので新しくして欲しい、浴室天井の塗装が剥がれている、鏡が見にくい、脱衣室の床を張り替えて欲しいなどの意見が寄せられました。

なお、常時、意見箱を設置し要望・意見等の把握に努めています。

④ 地域とのかかわりなど

・双樹園交通安全教室に協力。

・11月から玄関前と中庭にイルミネーションを設置。

・毎月、北伊勢西美濃湯めぐり倶楽部10湯施設のパンフレットを相互に提供。

公益目的事業としては、老人福祉センター羽島温泉の老人の健康増進を図るという設置目的に基づき、市内在住の65歳以上の老人及び身体障がい者に関する施設管理事業を公益目的事業、それ以外の利用者に関する施設管理事業を収益事業としました。

物品販売収入としては、「おはぎ、草餅、どら焼き、大福、赤飯、アイスクリーム」などお菓子類と「たまご、ごぼう茶」の土産物などを販売しております。売上金額は3,122,150円（対前年度213,160円の減）、原材料支出は、2,394,541円（対前年度109,335円の減）でした。売上減少の要因

としては業者様の都合により、おにぎり、助六寿司の販売が9月末で終了しました。
新たに「あられ、飴」を販売しましたがカバー出来ませんでした。

これからも当市の貴重な資源・財産であります“温泉”を市民の皆様とともに「親しまれ・喜ばれる“羽島温泉”」をめざしながら健康増進に寄与できますよう努めてまいります。

(4) 歴史民俗資料館指定管理事業

(ア) 令和5年度の利用状況

	令和5年度	令和4年度	増減
入館者数	6,230人	4,881人	+1,349人
入館料額	1,235,025円	1,100,530円	+134,495円

新型コロナウイルス感染が第5類に移行した中でも感染予防を徹底し、企画展などの事業計画を予定通り開催することができました。

(イ) 令和5年度の事業報告（企画展・映画のつどい・資料の収蔵・その他）

○企画展1 「私の青春を彩った名作映画コレクション展」

4月6日（木）～6月18日（日） 入館者数：2,658人

映画ファンは非常に多く、特に若い頃から映画に熱狂した50代以上の方は、映画関連の資料を収集することもステータスとする傾向がありました。その皆さん方が終活・修活の資料整理の手立てとして、近年資料館への寄贈が大変多くなってきています。

今回7名のファンからの寄贈を受け、その資料を展示するとともに、提供者のお勧めの映画を紹介していただいたり、映画の魅力を語っていただいたりして、ファンの視点から映画に魅せられた思いを伝え、幅広いジャンルの映画に関わる企画展となりました。

○企画展2 「本郷村庄屋・花村家所蔵品展」

～今、垣間見る近世の庄屋の暮らし～

7月1日（土）～9月18日（月・祝） 入館者数：727人

本郷村（現在：福寿町本郷）庄屋であった花村家の現当主から、当時使用していた生活関連などの貴重な道具類を大量に寄贈していただきました。

企画展では、道具類の展示を通して、地元本郷村における庄屋としての功績や暮らしぶりを振り返るとともに、近世のむらにおける生活の一端を紹介しました。地元の福寿町の皆さんを中心に、入館された皆さんから大変好評を博した企画展となりました。

○企画展3 「濃淡の魅力 羽島市の四季を水墨画で描く展」

9月30日（土）～12月17日（日） 入館者数：1,346人

羽島市在住の荒井克典さんは近年水墨画家として注目され、新しい発想や手法で精力的に活動を続けています。また、その師匠というべき故手塚五峰さんは、移り変わる四季の風景や旅先での幻想的な光景を得意とする画家でした。

今回、荒井さんが羽島市内の各所で描かれた四季折々の作品の展示とともに、VTRなども使用しました。

また、惜しまれつつ他界された手塚さんの遺品を荒井さんが受け継ぎ、その作品を初めて公開し、水墨画の魅力を十二分に伝える企画展となりました。

○企画展4 「昔のくらしと道具展」 ～羽島・竹鼻小学校の歴史をたどる～

1月6日（土）～3月17日（日） 入館者数：1,134人

竹鼻小学校は、明治7年（1874）に竹ヶ鼻学校として開校し、時代の変遷の中でいくつかの改称を経て、昭和33年（1958）に竹鼻小学校に改称し現在に至っています。羽島市の中心校としてその役割を果たし、市内の小学校教育をリードしてきました。

当館にある数多くの寄贈品や竹鼻小学校からの貴重な借用品を展示し、竹鼻小学校の歩み、歴史を振り返り、小学校教育の一端を知る機会としました。

○映画のつどい

計画通り、毎月第2土曜日に12本の映画を上映し、入場者の合計は1,134人でした。3年間コロナ禍の影響を受けて減少していましたが、令和元年度以来の1,000人越えとなりました。

また、11月4日・5日に開催した「文化庁優秀映画推進事業・映画観賞会」には、4本の上映作品に合計123人（令和4年度／73人）の入場がありました。

○歴史民俗資料・映画関係資料の受け入れや収蔵

年間を通して資料の収集・収蔵の業務を行っています。最近では民俗資料や映画資料の申し出が非常に多くなり、選別して受け入れている状況です。

特に令和5年度は、民俗資料としてお御輿（桑原町東八神区）や太平洋戦争に関わる資料の寄贈を受けました。また映画資料では、アニメーションや西部劇に関わる大量の資料を寄贈いただきました。いずれも当資料館では所蔵していない資料で、今後企画展などで紹介し、展示する予定です。

○その他の事業

・マイコレクション展

生涯学習の成果の一環として市民の皆様の作品をロビーで展示しています。令和5年度は、「布切り絵&おるづる展」、「ガラスアート作品展」、「ローズウインドウ展」、「水墨画小品展」、「和菓子木型展」の5展示を実施しました。令和5年度より展示に関わるワークショップを開催したり、和菓子木型展では希望者へ木型の贈呈を行ったりして大変好評のマイコレクション展になりました。

・古文書学習会

公募による11人の参加により、年間11回開催することができました。

・夏休み親子歴史教室

夏休み中の8月1日（火）に、「西中野渡船（木曾川）と小紅の渡し（長良川）を体験！」のテーマで実施しました。晴天に恵まれ、岐阜県内にわずか2箇所しか残っていない渡しによる渡河を体験することができました。

・小学3年生体験学習

例年企画展「昔のくらしの道具展」に併せて開催している体験学習を市内6つの小学校の参加（令和4年度より1校増）で体験内容を充実して行うことができました。

・名古屋鉄道との連携イベント

特別企画として、名鉄竹鼻線開通80周年に併せて、「テツドウモケイ運転会」を開催し、本年度はキッチンカーも招いて例年以上に好評なイベントをなりました。

・回覧板などを活用した広報活動

より市民の皆さんの事業を知っていただくため、資料館の事業説明や映画のつどいのチラシを回覧板の利用により回覧しました。また企画展にゆかりのある地域では、区の掲示板にポスター掲載を依頼するなど努めました。

年間を通して歴史民俗、映画関連の資料の整理・収蔵と展示を行い、歴史的財産として未来に伝えていく役割を担っていることから、歴史民俗資料館事業は公益目的事業としました。

(5) 受託事業

令和2年度より、羽島市老人クラブ連合会より活動運營業務委託を受け、事務局として会計事務業務全般、予算・決算、執行部会及び理事会等の運営が円滑に進められるよう対応しています。

市老人クラブ連合会の活動状況の詳細は、以下の表のとおりです。

月	日	事業内容	場所
4	24	<春季>フラワーコンクール審査	市内一円
5	18	市老連軽スポーツ大会	FUKUJU スポーツパーク
6	9	羽島市老人クラブ連合会令和5年度総会（参加者数：203名）	不二羽島文化センター
7	10	岐阜地区ブロック別リーダー研修会（参加者数：108名）	不二羽島文化センター
9	4	<夏季>フラワーコンクール審査	市内一円
	8	県老連主催体力測定（参加者数：104名）	羽島市民会館
10	6	飛水クラブぎふ軽スポーツ大会ペタンク（参加者数：6名）	多治見市梅平公園
	13	羽島市老人福祉大会・芸能大会（入場者数：490名）	不二羽島文化センター
	19	岐阜地区軽スポーツ大会（参加者数：43名）	瑞穂市サンコーパレットパーク
11	17	スマホ教室（参加者数：10名）	老人福祉センター
	22	羽島市・輪之内町親善軽スポーツ大会（参加者数：72名）	FUKUJU スポーツパーク
	30～ 12/1	市老連余技作品展	不二羽島文化センター 101展示室
12	8	飛水クラブぎふ大会・芸能大会（参加者数：15名）	土岐市文化プラザ
	15	スマホ教室（参加者数：10名）	願照寺（下中町）
2	2	新室内軽スポーツ大会（参加者数：92名）	羽島市民会館
3	1	市老連室内競技大会（輪投げ）（参加者数：150名）	羽島市民会館
年間		市老連 理事会（毎月1回 月初）	市老人福祉センター
年間		市老連 執行部会（毎月1回 月末）	市老人福祉センター

令和3年度からは受託事業として、市から羽島市美術展（一般の部）と、和太鼓

Live 実行委員会事務局事務の委託を受けています。

市美展につきましては、12月13日から17日まで不二羽島文化センター101展示室で開催し、12月17日に表彰式を行いました。日本画、洋画、書、写真、彫刻・工芸、デザイン各部門の応募数216作品の内多数の展示をし、多くの方々に鑑賞していただくことが出来ました。

なお、令和5年8月22日に和太鼓 Live 実行委員会が解散したことにより、和太鼓 Live 実行委員会事務局事務は実施しておりません。今後は各団体にて活動することになりました。

(6) 一般管理費事業（公社事務局）

事務局は、当公社運営の全般的管理を行うとともに、理事会及び評議員会の開催、基金等運用収入の確保等により事業の円滑実施に努め、その他主な業務内容は、以下のとおりです。

① 事業関係

- ・ 市長への要望書提出
- ・ 公社経営会議（月1回開催）
- ・ 四半期ごとの指定管理料申請
- ・ 事業報告書及び経営状況報告書提出（県・市）
- ・ 職員接遇研修
- ・ セキュリティポリシーの厳守
- ・ 各館において会計事務担当者の育成・指導

② 職員福利厚生関係（働きがいのある職場環境づくり）

- ・ ハラスメントの防止の周知
- ・ 36協定の遵守・指導
- ・ 時間単位年休制度の周知（年5日まで）
- ・ 生活習慣予防検診の周知
- ・ 夏季休暇、年次休暇取得の推奨
- ・ 福利厚生費の支給案内
- ・ 年10日以上年休保有者の年休5日の取得

II 庶務に関する事項

1 理事会議決事項(令和5年4月～令和6年3月)

回数	議案番号	事 件 名	提出年月日	議決認定
令和5年 第2回	報第2号	職務執行状況について	令和5年 6月2日	令和5年 6月2日
	認第1号	令和4年度公益財団法人羽島市地域振興公社事業報告の承認について		
	認第2号	令和4年度公益財団法人羽島市地域振興公社の計算書類等の承認について		
	議第5号	令和5年第2回定時評議員会の招集決定について		
令和5年 第3回	報第3号	職務執行状況について	令和5年 11月16日	令和5年 11月16日
	報第4号	令和5年度公益財団法人羽島市地域振興公社管理運営業務の中間報告について		
	議第6号	令和5年度公益財団法人羽島市地域振興公社補正予算(第1号)について		
	議第7号	評議員会の招集決定について		
令和5年 第4回	議第8号	公益財団法人羽島市地域振興公社ハラスメント等調査委員会設置運営要綱(案)について	令和5年 12月27日	令和5年 12月27日
	議第9号	公益財団法人羽島市地域振興公社ハラスメント等調査委員会に対し、調査指示事項について		
	議第2号	公益財団法人羽島市地域振興公社ハラスメント等調査委員3名の委員依頼について		
令和6年 第1回	報第1号	職務執行状況について	令和6年 3月27日	令和6年 3月27日
	議第1号	令和6年度事業計画、収支予算、資産調達及び設備投資の見込みについて		
	議第2号	令和5年度公益財団法人羽島市地域振興公社補正予算(第2号)について		
	議第3号	令和6年第1回臨時評議員会の招集について		

2 評議員会議決事項(令和5年4月～令和6年3月)

回数	議案番号	事 件 名	提出年月日	議決認定
令和5年 第2回定時	認第1号	令和4年度公益財団法人羽島市地域振興公社の計算書類等の承認について	令和5年 6月22日	令和5年 6月22日
	報第1号	令和4年度公益財団法人羽島市地域振興公社事業の報告について		
	報第2号	令和5年度公益財団法人羽島市地域振興公社の事業計画及び予算の報告について		
令和5年 第3回臨時	報第3号	令和5年度公益財団法人羽島市地域振興公社管理運営業務の中間報告について	令和5年 11月30日	令和5年 11月30日
令和6年 第1回 (決議の省略)	議第1号	理事の選任について	令和6年 3月28日	令和6年 3月28日
	議第2号	監事の選任について		

3 監査に関する事項

回数	監 査 事 項	実施日	実施場所
第1回	令和4年度事業報告及び事業収支決算について	令和5年 5月26日	文化センター 1階会議室
第2回	令和5年度上半期業務執行状況監査について	令和5年 11月13日	文化センター 1階会議室

4 情報公開に関する事項

文書公開請求事案なし

5 職員に関する事項

職員の配置状況

(各年度末の状況)

施設名	職員内訳 年度	公 社 職 員		公 社 嘱 託 員		公社臨時職員		合 計	
		R4年	R5年	R4年	R5年	R4年	R5年	R4年	R5年
公社事務局		3	3	0	0	1	1	4	4
文化センター 中央公民館		8	7	1	1	3	3	12	11
老人福祉センター 羽島温泉		6	5	2	2	3	3	11	10
歴史民俗資料館		2	2	1	1	1	1	4	4
合 計		19	17	4	4	8	8	31	29

※文化センター

異動による減

※羽島温泉

自己都合退職による不補充

令和5年度 公益財団法人羽島市地域振興公社事業報告 附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありません。